



国連におけるジェンダー問題の行方 ーポスト2015開発戦略の中でー

国際連合 統計部 次長
大崎 敬子

目次

- 国連におけるジェンダー問題の取り組み
- ポスト2015開発戦略:MDGsからSDGsへ
- 国連のジェンダー統計業務

国連におけるジェンダー問題の取り組み

国連とジェンダー問題

- 男女の平等を促進すること、女性のエンパワーメントは、国連のもっとも基本的な活動。女性の活躍は単に権利であるばかりでなく、開発目標を達成するために不可欠な手段と認識。
- **婦人の地位委員会** (Commission on the Status of Women)
世界レベルでジェンダー問題の進捗状況を監視
- **女子差別撤廃委員会** (CEDAW)
「女子に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」の順守状況を監視
- **国連ウィメン** (UN-Women)
2010年に、4つのジェンダー関係の国連組織を統合して設立された国連システムの一つ。

世界女性会議



- 女性の地位向上を世界共通の課題として捉え、ジェンダー問題に関する理解を広め、各国内の諸制度や慣習の改善、法律整備を促した
 - － メキシコ・シティ（1975年）
 - － コペンハーゲン（1980年）
 - － ナイロビ（1985年）
 - － 北京（1995年） 北京宣言、行動綱領
- 相次ぐ国連主導の会議に対する批判が高まる中、ジェンダー問題は、MDGsに代表される国連の開発フレームワークの中に包括されてゆく

北京行動綱領

北京会議で採択された行動綱領は、女性の地位向上のために重要な12の関心領域を明らかにした

今日でも、政策立案、進歩の度合いを図るためのフレームワークとして広く使われている



- 貧困
- 教育
- 健康
- 暴力
- 紛争
- 経済、生産プロセス
- 権限と政策決定
- 女性の地位向上を図る機構
- 人権
- マスメディア
- 環境
- 女児

ポスト2015開発戦略 —MDGsからSDGsへ—

2015年は節目となる重要な年です。私たちはミレニアム開発目標を達成します。そして今、持続可能な開発目標を含む、持続可能な開発のための展望への一歩を踏み出しました。

潘 基文(パン・ギムン)国連事務総長

MDGs:ミレニアム開発目標

- MDGsは、国連が主導した、貧困撲滅を究極的な目的とするグローバルな取り組み
- 2000年の世界開発サミットで採択された。2015年までに達成すべき具体的な数値目標が設けられた
- 途上国の、開発政策の指針として重要な役割を果たす



8つのゴール、21のターゲット



貧困撲滅



教育の向上



女性の地位向上



幼児死亡の低下



妊産婦の健康



HIVエイズ等の疾病撲滅



環境の持続



開発のための
パートナーシップ



PROMOTE GENDER
EQUALITY AND
EMPOWER WOMEN

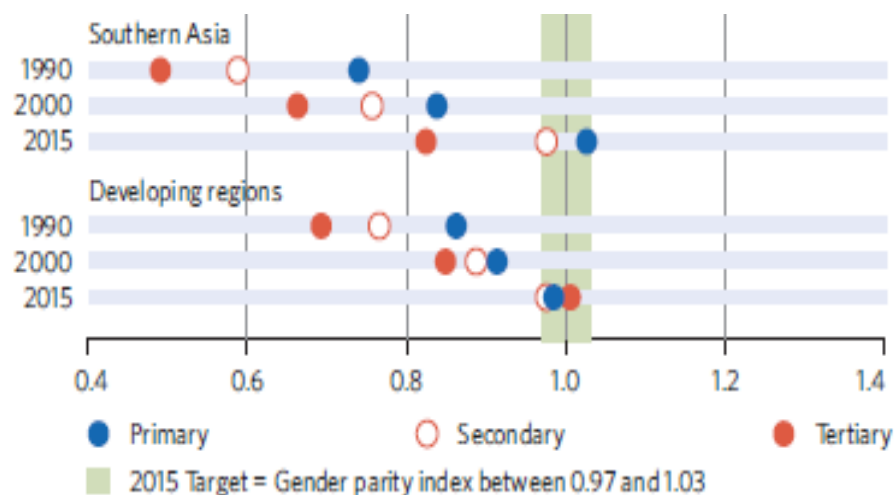
開発途上地域は初等教育の男女格差を解消

目標：男女平等の推進と女性の地位向上

すべての開発途上地域は、初等、中等および高等教育における男女格差を解消するという目標を達成した。

1990年、南アジアでは、100人の男子に対し、74人の女子が小学校に在籍していた。今日では、100人の男子と比較して103人の女子が在籍している。

1990年、2000年、2015年の南アジアとその他の開発途上地域における、初等、中等および高等教育の就学率の割合のジェンダー平等指数



* The gender parity index is defined as the ratio of the female gross enrolment ratio to the male gross enrolment ratio for each level of education.

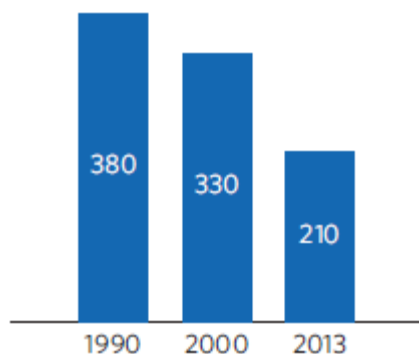
ジェンダー平等指数は、教育の各基準における男性の就学率の割合に対する女性の就学率の割合によって定義される。



妊産婦の健康状態の改善

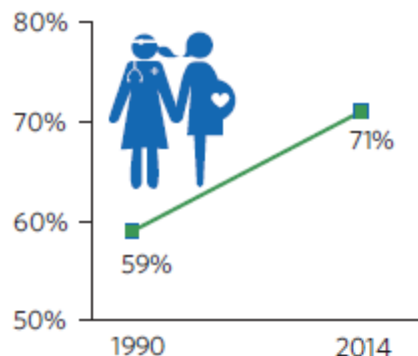
目標：妊産婦の健康状態の改善

世界の妊産婦死亡率 (出産10万対)



1990年以降、妊産婦の死亡率は45%減少した。これらの減少の多くは2000年以降に起こっている。

医療従事者の立会いの下に行われた出産



2014年には、世界の71%以上の出産は、医療従事者の立会いの下に行われた。1990年には59%であった。

縮まらないジェンダー格差

- 総合的な女性の地位向上は認められるものの、依然としてジェンダー格差が顕著な分野も多い。

就業機会

資産の保有

公私にわたる意思決定

- 人口高齢化、シングルマザーの増加など、家族形態の変化の中、女性は男性より貧困状態に置かれやすい。



SDGs: 持続可能な開発目標

- ミレニアム開発目標に続く世界的開発戦略
(2016-2030)
- リオ環境サミットからの流れ。
経済、社会、環境分野を包括的に網羅
- ”Universal peace in larger freedom”
”No one will be left behind”
- 2015年9月末に開催される
ハイレベルサミットで採択される。



サミットで採択される合意文書

Outcome Document of the UN Summit

- 17のゴール、169のターゲット、??? 指標
- 序文に男女平等と、あらゆる女性、女児をエンパワーメントすることの大切さを明記
- ゴール5をすべてジェンダー問題に割いている
- その他のゴールでも、ジェンダーの視点に配慮した表記が多い。
 - By 2030, ensure that all men and women have equal rights to economic resources, as well as access to basic services.... (ゴール1. 4)
 - Ensure all girls and boys have access to quality early childhood development education.....(ゴール4. 2)

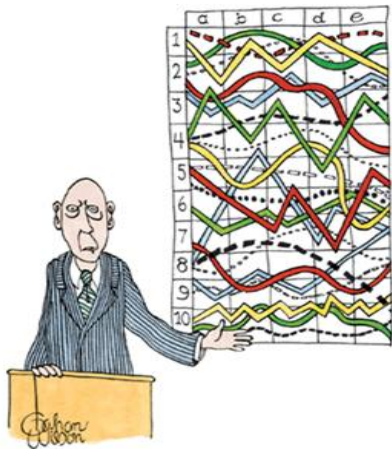
SDG ゴール5

男女平等と女性、少女のエンパワーメント

- 5.1 女性、女児に対する、あらゆる差別の終焉
 - 5.2 女性、女児に対する、あらゆる暴力の撤廃
 - 5.3 あらゆる傷動行為（子供婚、強制婚、FGM等）の撤廃
 - 5.4 無償労働、家事の認識
 - 5.5 女性があらゆる意思決定、リーダーシップを発揮できるような環境作り
 - 5.6 リプロダクティブヘルス、権利の享受
-
- 5.a 資産保有の権利を保障するための改革
 - 5.B エンパワーメントに繋がる情報技術の利用促進
 - 5.C ジェンダー平等を促進する政策、法律の強化



国連のジェンダー統計業務



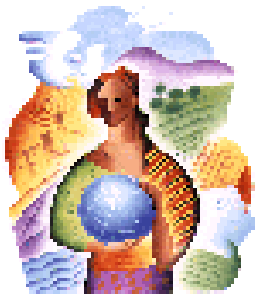
"I'll pause for a moment so you can let this information sink in."

政策決定に不可欠な統計

“ Being a statistician is the sexiest job of the 21st Century ”

- Hal Varian, Chief Economist, Google (2012)
- Harvard Business Review (2013)

- 統計は政策立案、決定に不可欠な資料という認識が一般化
- 特に、ジェンダー統計は、女性の地位の向上を客観的に把握するために欠かせない。



BPA Strategic Objective H.3.

Generate and disseminate gender disaggregated data and information for planning and evaluation

国連のジェンダー統計業務

Global Gender Statistics Programme

- 専門家による諮問機構 (IAEG-GS)
- ジェンダー統計国際フォーラム
- 技術的な研究調査
- 途上国を対象とした技術援助
- EDGE プロジェクト
- 「世界の女性 (World's Women)」の発刊

専門家による諮問機構(IAEG-GS)

- 国連のジェンダー統計業務は、専門家及び国連専門機関の代表で成り立つ諮問機構(Inter-Agency and Expert Group on Gender Statistics)の助言のもとに展開される
- 国、地域、世界レベルで行われるジェンダー統計業務のコーディネーションと関連性の強化
- 国連統計委員会の傘下、国連本部統計局が事務局を務める
- 2007年より、毎年、定期的な会合を持つ
- 現在の議長はメキシコ

ジェンダー統計国際フォーラム

Global Forum on Gender Statistics

- ジェンダー統計の製作側、使用側の意見交換の場。経験の共有、国際標準の促進を目的とする。

1st Rome, 2007



2nd Accra, 2009



3rd Manila, 2010



4th Dead Sea, 2012



5th Aguascalientes, 2014



研究調査、途上国に対する技術支援

- 統計の整備や国際標準化が不十分である分野における技術的な研究
 - Violence against women statistics survey manual
 - Production of gender statistics from population and housing surveys
 - International Classification of Activities for Time Use Statistics (ICATUS)
- 当該分野のマニュアルや専門書を用いて、途上国の統計関係者向けに研修や、技術支援を行う。

ジェンダー統計: ミニマムセット

@ unstats.un.org/unsd/gender/data.html



男女平等、女性の地位の向上を数値的に測るため、国連は最小限、52の指標のデータを集めるよう推奨している。

5つの分野

- ✓ 経済活動、資産保有
- ✓ 教育
- ✓ 健康
- ✓ 人権
- ✓ 公的社会参加、意思決定

国連のジェンダー統計の分類

分類 I

- 国際的に合意された明確な定義があり、多くの国が定期的に統計を提供できる。

→ 例： 就業率、就学率、平均寿命、他

分類 II

- 国際的に合意され明確な定義はあるが、多くの国は、定期的な統計の提供に問題がある。

→ 例： 非正規雇用、女性の裁判官/警察官、他

分類 III

- 国際的に合意された定義が無く、多くの国が統計を定期的に提供できない。

→ 例： 女性の起業、資産保有、他

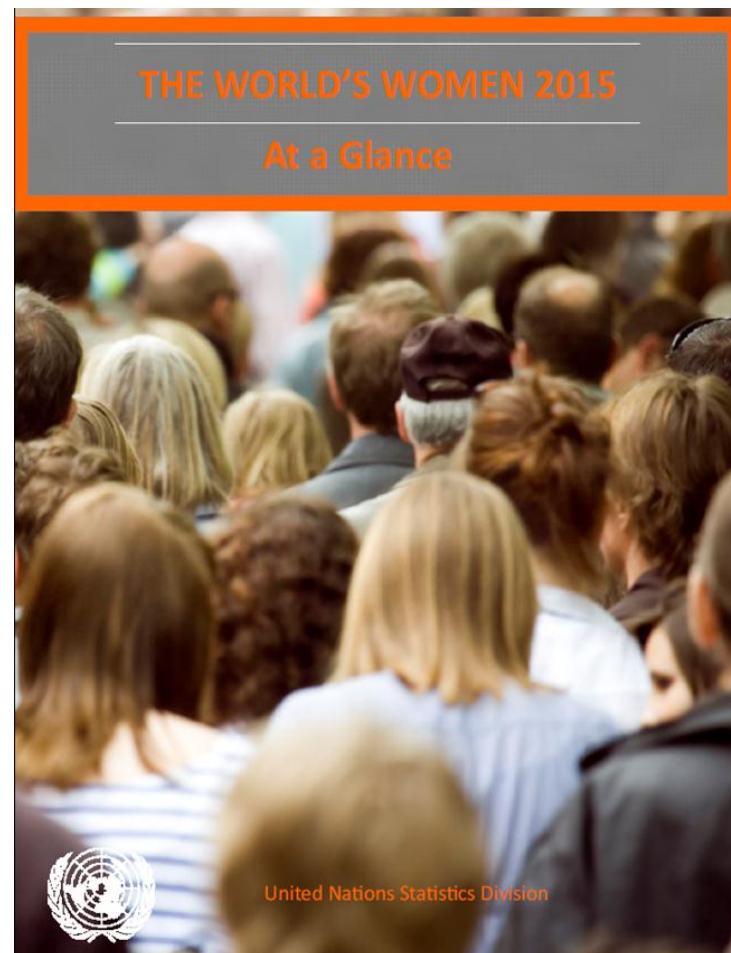
EDGE プロジェクト

Evidence and Data for Gender Equality Initiative

- 国連統計部と国連ウイメン (UN Women) が共同で実施している4年間のプロジェクト (2013-2016)
- アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、国際食糧機構 (FAO)、OECD、世界銀行なども共同参加
- 健康、教育、雇用、起業、資産保有の分野における、国際比較可能なジェンダー統計を収集、集積することを目的とする。
- 特に、起業、資産保有の分野においては、統計的概念の整備、統計収集のための手法の開発、ガイドラインの作成も目的とする。

世界の女性 2015

- 第6版。1991年より5年毎に出版
- 北京行動要綱に沿って、男女の地位の現状、変化を統計を用いて検証するもの
- 各国の統計局、国連専門機関より集められた最新のデータを使用
- 2015年10月20日、世界統計の日に発刊



総括

- ジェンダー問題は、国連の優先課題のひとつ。長年、組織を挙げて取り組んできた。
- 2015年は、国連の開発戦略にとって大きな節目の年。MDGsに続くSDGsの中でも、ジェンダー問題は、グローバルな課題として明確に認識されている。
- ジェンダー統計は、女性の社会的地位とその変化を把握するうえで不可欠な資料であると広く認識されるようになった。
- SDGsの進捗状況を客観的に把握するためにも、ジェンダー統計の一層の整備が望まれる。

ご清聴ありがとうございました。

国連ジェンダー統計のウェブサイト:

<http://unstats.un.org/unsd/gender/default.html>